

3. 若年者における就学・就業行動の家族人口学的要因 小島 宏 (人口問題研究所)

4. 息子の再分配

—養子慣行の歴史人口学的分析 落合恵美子・黒須里美 (国際日本文化研究センター)

また、この前日の11月4日、龍谷大学にて第4回アジア社会研究会研究大会が開かれた。「現代アジアにおける都市、農村の構造連関」を全体共通テーマとし、中国、タイ、フィリピンの3つの部会にわかれ、人口移動が比較検討された。中国部会は以下のとおり。

1. 小城镇—都市・農村の結節点 田中重好
2. 地域社会の構造と人口移動 佐々木衛
3. 現代中国の都市・農村の構造連関 陸 学芸

なお、発表者の陸学芸は中国社会科学院社会学研究所所长・中国社会学会副会長であり、日中社会学会の11月12日にも発表。明年11月には、天安門事件で延期されてきた「第6回アジア社会学会」が北京で開かれる予定である。(若林敬子記)

経済統計学会第38回全国総会

経済統計学会第38回全国総会は、1994年11月9日(水)から10日(木)の2日間、静岡大学を開催校とし、リゾート伊豆(静岡県・東伊豆町)で行われた。SNA、家計調査、「日本人の国民性調査」等16の報告があり、そのうち人口に関連する報告は以下のとおりである。

報告者	論 題	予定討論者
廣嶋清志 (厚生省人口問題研究所)	「高齢者の世帯状態の将来推計：結果とその分析」	藤岡光夫 (島根大学)
渡邊吉利 (厚生省人口問題研究所)	「未婚率の地域的变化の動向—SMAMおよび生涯未婚率による観察—」	藤岡光夫 (島根大学)
坂田幸繁 (中央大学)	「都道府県間人口移動率の予測について」	西村善博 (大分大学)

なお、今回はじめて「ジェンダー統計の諸問題」について特集が生まれ、以下の4報告が行われた。

報告者	論 題	予定討論者
伊藤陽一 (法政大学)	「ジェンダー統計—現状と課題—」	山田 満 (高崎商科短期大学)
杉橋やよい (法政大学大学院)	「コンパラブル・ワースの職務評価と統計利用—男女別格差是正に向けて—」	杉森滉一 (中央大学)
岩崎俊夫 (立教大学)	「ジェンダー視点から見た経済活動人口の概念と構成」	福島利夫 (大阪経済法科大学)
中村安子 (大東文化大学)	「アメリカ合衆国における女性と統計」	山本千鶴子 (厚生省人口問題研究所)

(山本千鶴子記)

人文地理学会

1994年度の人文地理学会大会は1994年11月12日～14日、奈良女子大学(奈良県奈良市)にて開催された。人口研究に関連して、以下のような発表があった。

- ・東京都区部内における公営住宅居住者の年齢構成の変化 由井義通 (立命館大学・文)